

[RADIOISOTOPES, 33, 284 (1984)]

### Distribution of Suprofen in Rats of Both Sexes

YUKIO MORI, FUSAYUKI YOKOYA\*, YOSHIYUKI SAKAI\*,  
KAZUMI TOYOSHI, SHIGEO BABA\*\*

#### スプロフェンのラットにおける体内分布

森 幸雄, 横家房志\*, 酒井淑行\*, 豊吉一美, 馬場茂雄\*\*

<sup>3</sup>H 標識 RS-2-(4-(2-チエニルカルボニル)フェニル)プロピオン酸 (スプロフェン) の雌雄および妊娠ラットにおける臓器分布を燃焼法により検討した。血漿レベルと比較できる濃度を示したのは、消化管を除くと肝と腎のみであり、その他の組織レベルは非常に低かった。妊娠ラットにおいて、放射活性は血液-胎盤関門を中程度通過し、胎仔には低濃度の放射活性が認められた。雌雄および妊娠ラットのほとんどの臓器からの放射活性の消失速度は血漿からのそれと類似しており、投与24時間後のラットの臓器には放射活性がほとんど認められなかった。

\* 大洋薬品工業(株) \*\* 東京薬科大学

[Toxicol. Lett., 20, 155 (1984)]

### A Comparative Study on Cytotoxicities and Biochemical Properties of Anthraquinone Mycotoxins Emodin and Skyrin from *Penicillium islandicum* Sopp

KIYOSHI KAWAI\*, TAKETOSHI KATO\*\*, HIDEKI MORI\*,  
JIRO KITAMURA, YOSHINORI NOZAWA\*

#### *Penicillium islandicum* Sopp のつくるアントラキニン系マイコトキシン Emodin および Skyrin の細胞毒性および生化的性質の比較研究

河合 清\*, 加藤武利\*\*, 森 秀樹\*, 北村二郎, 野沢義則\*

黄変米菌 *Penicillium islandicum* の代謝産物である emodin と skyrin の作用を細胞毒性および生化的な諸点から調べた。skyrin は L1210 の増殖を emodin よりも強く阻害し、ID<sub>50</sub> はそれぞれ 20μM と 35μM であった。また初代肝細胞を使用した DNA 不定期合成では両者とも 10<sup>-3</sup>M でも変化は認められなかった。しかし、ミトコンドリアの呼吸にたいしては emodin が skyrin よりも強い脱共役作用を示した。またラット脳ミクロソームの Na<sup>+</sup>, K<sup>+</sup> ATPase 活性を skyrin は 30μM で50%阻害したが、emodin では 50μM でも阻害作用は認められなかった。

\* 岐阜大学医学部 \*\* 愛知県がんセンター